



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール経済：パールGTLから初出荷

(14日付現地各紙)

14日付現地各紙は、シェルとカタール石油（QP）の合弁会社が運営するパールGTLプラントからガスオイルを初出荷したと報じている。概要は以下の通り。

シェルとQPの合弁企業が運営を行うパールGTLプラントから生産されたガスオイルが初出荷された。このガスオイルは、ラスラファン工業地区に建設されている最新のGTLプラントで製造されたものである。今後数カ月間は、パールGTLプロジェクトの第一トレインより生産を徐々に増やし、年末までに第二トレインからの出荷を見込んでいる。パールGTLプラントは国内最大規模のエネルギー・プロジェクトで2012年中頃までにフル操業体制に入ることを見込まれており、ノース・フィールドガス電から日量16億立方フィートのガスを生産し、コンデンセート、LPGおよびエタンなど日量12万バレル、GTL製品を日量14万バレル製造する。シェルは、カタールとの間で締結した開発と製造に関わる契約（生産分与契約）のもと、パールGTLの運営者となっている。パールGTLは、世界の石油製品市場において販売する高品質のGTL製品の製造が見込まれており、具体的には、ジェット燃料と混合させるケロシン、自動車用ディーゼル燃料、パラフィン、ナフサ等である。